

2022年度学生実習制度インターンシップ方式受入れテーマ等提案票(対面実習)

◆日本語版

No.	受入可能部署名	研修実施場所	テーマ(案)	受入可能人数	受入条件			実習日数 (休日除く)	実習期間		実習概要	コロナ拡大時の対応 (中止/オンラインに切替)	
					区分	専攻学科等	学年		その他	開始日			終了日
J-1	有人宇宙技術部門 有人宇宙技術センター	筑波	ISSでの物品管理自動化システムの検討	2	指定なし	指定なし	指定なし	特になし	10日間	7月～8月の夏季休業中 で10日間	ISSでのクルータイム効率化の一環として物品管理システムの自動化システム案を検討する。	オンラインに切替	
J-2	有人宇宙技術部門 事業推進部	筑波	有人宇宙技術活動の事業紹介	4	大学・大学院	指定なし	大学2年以上	・パワーポイントやフォトショップなどの利用に通じていることが望ましい	10日間	7月～8月の夏季休業中 で10日間	来訪者向けの事業紹介ポスターや映像を作成する。	中止	
J-3	研究開発部門 研究推進部 角田管理課	角田	東北エリアを対象とした角田宇宙センター オリジナルの広報・アウトリーチ活動案の 検討	3～4	指定なし	指定なし	大学2年以上	特になし	7日間	7月～11月 (予定)	角田宇宙センターは、東北エリアでJAXA最大の拠点として、一般の方を対象とした展示 室の運営や一般公開等のイベント、小学生を対象とした宇宙教室の実施や地元角田市との 協力による地域振興の取組みなど様々な広報普及、教育、地域連携の取組みを進めて いる。他方、依然として角田宇宙センターの知名度は低く、開拓の余地が大いと考え ているところ、従来にない新しいアプローチ [※] で角田宇宙センターの活動を知ってもらう方 策の検討と具体化をチームで行う。 [※] 新しいアプローチには、角田宇宙センターの魅力を発信できるオンラインコンテンツの作 成や具体的なイベント案の提案、そのイベントを実施した際の広報的効果等の分析、検 討を含む。左記については、今後定常化する可能性もある。 実習期間中の土日にイベント対応等の実習を体験してもらう可能性あり。	中止	
J-4	航空技術部門 設備技術研究ユニット	調布	流体の基礎実験と解析に関する実習	9	大学・大学院	機械系	大学3年以上	・機械系の知識とプログラミングの知識が必要 ・自身が使用する可搬型(ノート型等)PC(OS:Win10以上が 望ましい)を用意できること ・大学での機械実習、プログラミング実習、解析経験者がグ ループ内にあることが望ましい。	5日間	11月7日	11月11日	0.65m×0.55m小型低乱風洞による風洞実験とCFD解析を行い、結果の比較を行う。(2 グループで実施)	オンラインに切替
J-5	航空技術部門 設備技術研究ユニット	調布	流体の基礎実験と解析に関する実習	9	大学・大学院	機械系	大学3年以上	・機械系の知識とプログラミングの知識が必要 ・自身が使用する可搬型(ノート型等)PC(OS:Win10以上が 望ましい)を用意できること ・大学での機械実習、プログラミング実習、解析経験者がグ ループ内にあることが望ましい。	5日間	2月13日	2月17日	0.65m×0.55m小型低乱風洞による風洞実験とCFD解析を行い、結果の比較を行う。(2 グループで実施)	オンラインに切替
J-6	宇宙科学研究所 科学衛星運用・データ 利用ユニット	相模原	科学衛星の公開アーカイブデータへ効率的 にアクセスするための情報システムの 研究開発	1	大学・大学院	指定なし	大学3年以上、 又は高専専攻科 1年以上	・プログラミングおよびウェブ開発の基礎的な知識が必須 ・Python, SQL, HTMLの知識を有している、あるいは短期間 に習得するためのプログラミング一般の素養を備えているこ とが望ましい。 ・AWSやAzure等のクラウドを用いたWebアプリ構築の経験 を有していればなお望ましい	10日間	8月22日	9月2日	宇宙科学研究所が保有している科学衛星の公開アーカイブデータの利用を体験し、その データに効率的にアクセスして表示・提供するためのウェブシステムの機能改良等の開発 に取り組む。	オンラインに切替
J-7	宇宙科学研究所 科学衛星運用・データ 利用ユニット	相模原	科学衛星のテレメトリデータを可視化表示 するための情報システムの研究開発	1	大学・大学院	指定なし	大学3年以上、 又は高専専攻科 1年以上	・プログラミングおよびウェブ開発の基礎的な知識が必須 ・Python, SQL, HTMLの知識を有している、あるいは短期間 に習得するためのプログラミング一般の素養を備えているこ とが望ましい。 ・AWSやAzure等のクラウドを用いたWebアプリ構築の経験 を有していればなお望ましい	10日間	8月22日	9月2日	宇宙科学研究所の科学衛星テレメトリデータの即時可視化表示を体験し、運用の利便性 を高めるための表示方法の検討・開発などに取り組む	オンラインに切替
J-8	宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系	相模原	フォトリソグラフィ測定による宇宙マイクロ波 背景放射観測望遠鏡の形状変化の評価 体験	3	大学	理学系 又は 工学系	大学1～3年	・電磁気学とプログラミングの基礎を理解していることが望ま しい。	10日間	8月22日	9月2日	宇宙マイクロ波背景放射の観測実験の基礎を学ぶ。ミリ波望遠鏡の形状変化をフォトグラ メトリ測定技術を用いて評価する実験・実習を行う。宇宙論・光学他の講義や輪講も行う。	中止
J-9	宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系	相模原	宇宙マイクロ波背景放射の偏光観測用望 遠鏡の開発研究体験	5	大学	理学系 又は 工学系	大学1～3年	・電磁気学とプログラミングの基礎を理解していることが望ま しい。	10日間	8月8日	8月22日	宇宙マイクロ波背景放射の偏光を観測するための基礎を学ぶ。ミリ波観測装置をもちい た実験・実習をおこなう。宇宙論・光学他の講義や輪講もおこなう。	中止
J-10	宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系	相模原	宇宙マイクロ波背景放射観測に向けた超 伝導検出器の性能評価体験	3	大学	理学系 又は 工学系	大学1～3年	・電磁気学とプログラミングの基礎を理解していることが望ま しい。	10日間	8月15日	8月26日	宇宙マイクロ波背景放射(CMB)の観測実験の基礎を学ぶ。実習は、超伝導検出器TES の読み出し試験を行う。宇宙論・光学他の講義や輪講もおこなう。	中止